

新たな都市像検討委員会

準備会合

令和5年3月24日（金）

「新たな都市像検討委員会」準備会合

日時：令和5年3月24日（金）9：30～10：20

会場：金沢市役所第二本庁舎 3階 2301会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

- (1) 新たな都市像の策定に向けて
- (2) 令和4年度の取組について
- (3) 新たな都市像検討委員会の設置について

3 質疑応答

4 閉 会

【資料】

資料1 市長説明資料「親和力で奏でる金沢」

参考1 アンケート調査結果

資料2 令和4年度の取組について

参考2 市民参加型ワークショップ グループ発表

資料3 新たな都市像検討委員会の設置について

参考3 金沢市の概況について

(1) 新たな都市像の策定に向けて

資料 1

親和力で奏でる金沢

令和5年3月24日

金沢市長 村山 卓

私の考える市政のテーマ

「親和力で奏でる金沢」

多様な方が、

それぞれの立場や考え方を知り、

尊重し合える環境のもとで

共に語り合い、アイデアを出し合い、

まちの未来をつくりあげていく

世界に誇る文化都市・金沢に向けて

市政の系譜

山出市政：21世紀美術館や鼓門の建築など
⇒ **文化の質の向上・深掘り**

山野市政：スポーツ文化・建築文化・木の文化都市
⇒ **文化の幅の拡がり**

コロナ禍で「**心の豊かさ**」が問われる時代
⇒ **文化をより身近なものに**

文化の振興（農民藝術概論綱要（宮沢賢治）より）

……何故われらの藝術がいま起らねばならないか……

曾つてわれらの師父たちは乏しいながら可成楽しく生きてゐた
そこには藝術も宗教もあった

いまわれらにはただ労働が 生存があるばかりである

宗教は疲れて近代科学に置換され然も科学は冷く暗い

藝術はいまわれらを離れ然もわびしく堕落した

いま宗教家藝術家とは真善若くは美を独占し販るものである

われらに購ふべき力もなく 又さるもの必要とせぬ

いまやわれらは新たに正しき道を行き われらの美をば創らねばならぬ

藝術をもてあの灰色の労働を燃せ

ここにはわれら不斷の潔く楽しい創造がある

都人よ 来つてわれらに交れ 世界よ 他意なきわれらを容れよ

世界に誇る文化都市・金沢に向けて

未就学児へ

保育園や幼稚園で「自尊感情」を高める
⇒ 金沢で「子育てをしたい」

小中学校で

文化により教養の幅を広げる
⇒ 金沢への愛着の醸成。「文化の自己決定力」

来街者へ

他の観光地とは違う文化水準を体験
⇒ 旅行の長期化再訪、「関係人口」の増加

「世界に誇る文化都市金沢推進本部」 の設置



令和4年7月設置

取組の方向性

①心の豊かさの醸成

②未来への継承と発展

③活動環境の充実

④幅広い文化の発信



2. 新たな都市像の策定に向けて

新たな都市像の策定に向けて

令和4年度の取組

- シンポジウム
- 地域との意見交換
- 市民参加型ワークショップ
- 未来へつなぐ金沢行動会議
- 各種団体との意見交換、アンケート

シンポジウム

10年後の金沢を考えるシンポジウム

(8月5日開催)



金沢市公式YouTubeチャンネル
にてアーカイブ配信中

地域との意見交換

- ・金沢の未来を考えるまちづくりミーティング
- ・金沢の未来を考える会（8月～11月開催 計13回）



市民参加型ワークショップ

10年後の金沢を考えるワークショップ

(10月～2月開催 計5回)



金沢市公式YouTubeチャンネル
にてアーカイブ配信中



未来へつなぐ金沢行動会議

「未来へつなぐ金沢行動会議」の設置



新たな都市像の策定に向けて

- **令和 4 年度**

市民や多様な主体から、
今後のまちづくりに関する
意見を幅広く聴取

- **令和 5 年度**

有識者や関係団体の代表者等からなる
検討委員会及び府内の策定本部を設置し、
検討を進め、都市像をとりまとめ

(2) 令和4年度の取組について

令和4年度の取組について

1. シンポジウムの開催（8月）

- ・議論のキックオフとして、市長自らの考えを講演
- ・有識者と国外における文化・芸術を生かしたまちづくりの事例、金沢での活動における現状や課題、金沢の未来への思いなどを意見交換

2. 地域との意見交換（8月～11月）

- ・「10年後の金沢の未来像」をテーマに、町会連合会、公民館連合会、校下婦人会連絡協議会と意見交換（計13回）

3. 市民参加型ワークショップの実施（10月～2月）

- ・5つのテーマごとに、今後のまちづくりのアイデアや方向性について、一般公募による市民等がワークショップ形式で議論し、グループ発表

令和4年度の取組について

4. 「未来へつなぐ金沢行動会議」の設置（9月～）

- ・若い世代が金沢のまちに愛着を深めるとともに、まちづくりへの積極的な参画を促すため、一般公募による大学生や若い社会人等で構成
- ・未来の金沢への思いや、住み続けたいまちの姿などについてワークショップを実施

5. 各種団体との意見交換（1月）

- ・市長自らの考えを講演
- ・意見交換とアンケート調査を実施

6. アンケート調査の実施

- ・ホームページにおいて、広く一般市民向けにアンケート調査を実施

令和4年度の取組について

【参考】

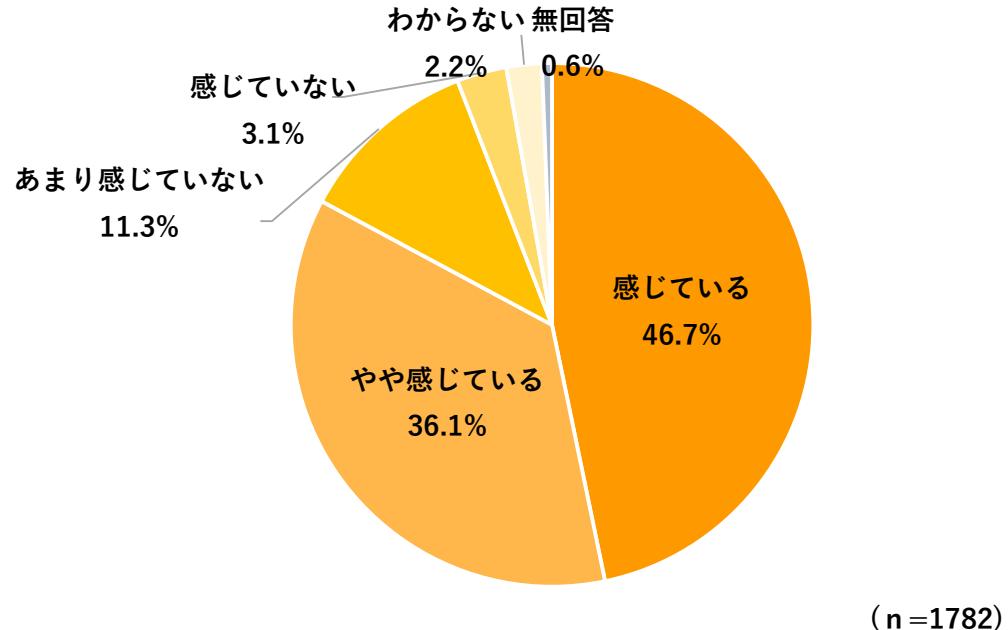
内 容	対 象	開催時期	参加者等
シンポジウム	一般市民（公募）	8月	220人来場
		動画配信	約2,000回視聴
地域との意見交換	・町会連合会 ・公民館連合会 ・校下婦人会連絡協議会	8月～11月 (計13回)	274人参加
市民参加型ワークショップ	一般市民（公募）	10月～2月 (計5回)	90人参加
未来へつなぐ金沢行動会議	18歳以上40歳未満の若者 (公募)	9月～	28人参加
各種団体との意見交換	各種団体	1月	70団体参加
アンケート調査	一般市民	8月～2月	1,782人回答
	各種団体	1月～2月	52団体回答

アンケート調査結果（一般市民）

(1) 今の金沢への思いについて

① 金沢に誇りや愛着を感じているか

■ 「感じている」「やや感じている」が82.8%であり、回答者の**8割以上が金沢に誇りや愛着を感じている。**

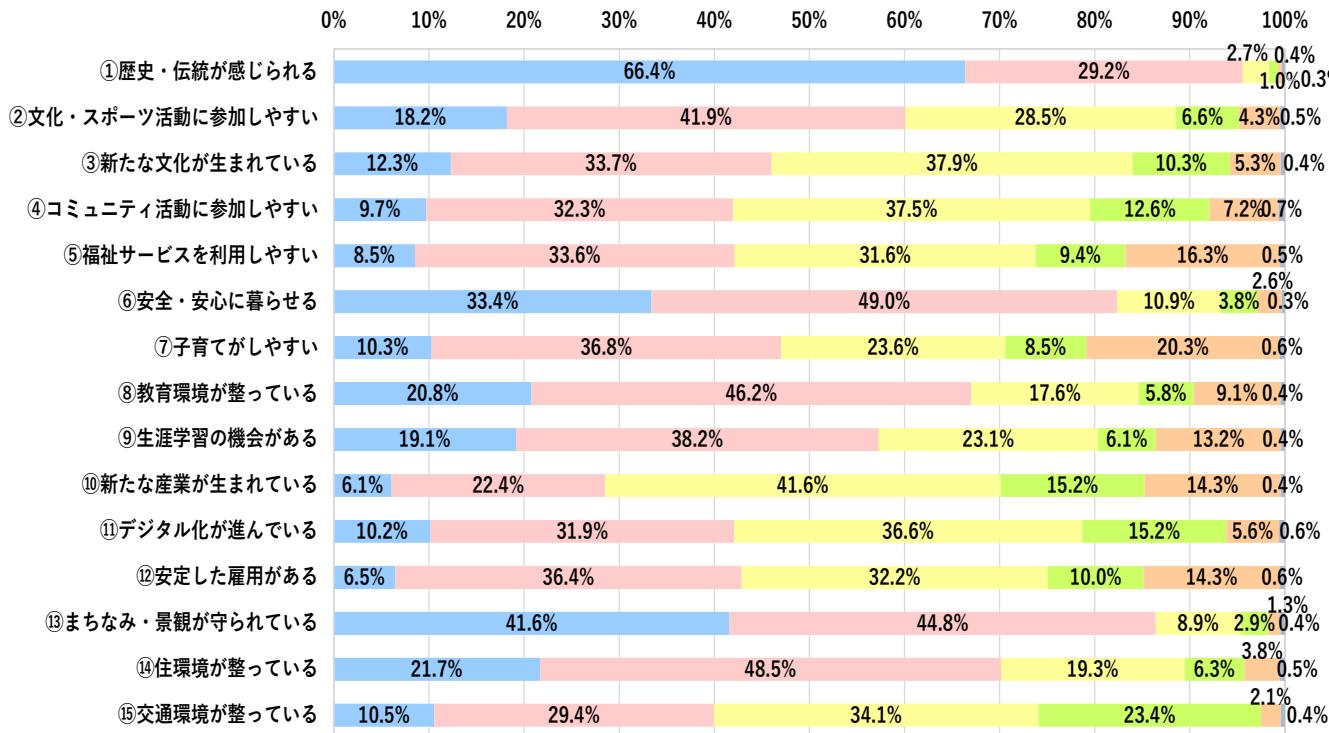


アンケート調査結果（一般市民）

(1) 今の金沢への思いについて

② 金沢のまちの印象や金沢での暮らしについて、どのように感じているか

- 「思う」「やや思う」の上位3項目は、「①歴史・伝統が感じられるまち」95.6%、「⑬まちなみ・景観が守られている」86.4%、「⑥安全・安心に暮らせる」82.4%
- 「思わない」「あまり思わない」の上位3項目は、「⑯交通環境が整っている」57.5%、「⑩新たな産業が生まれている」56.8%、「⑪デジタル化が進んでいる」51.8%



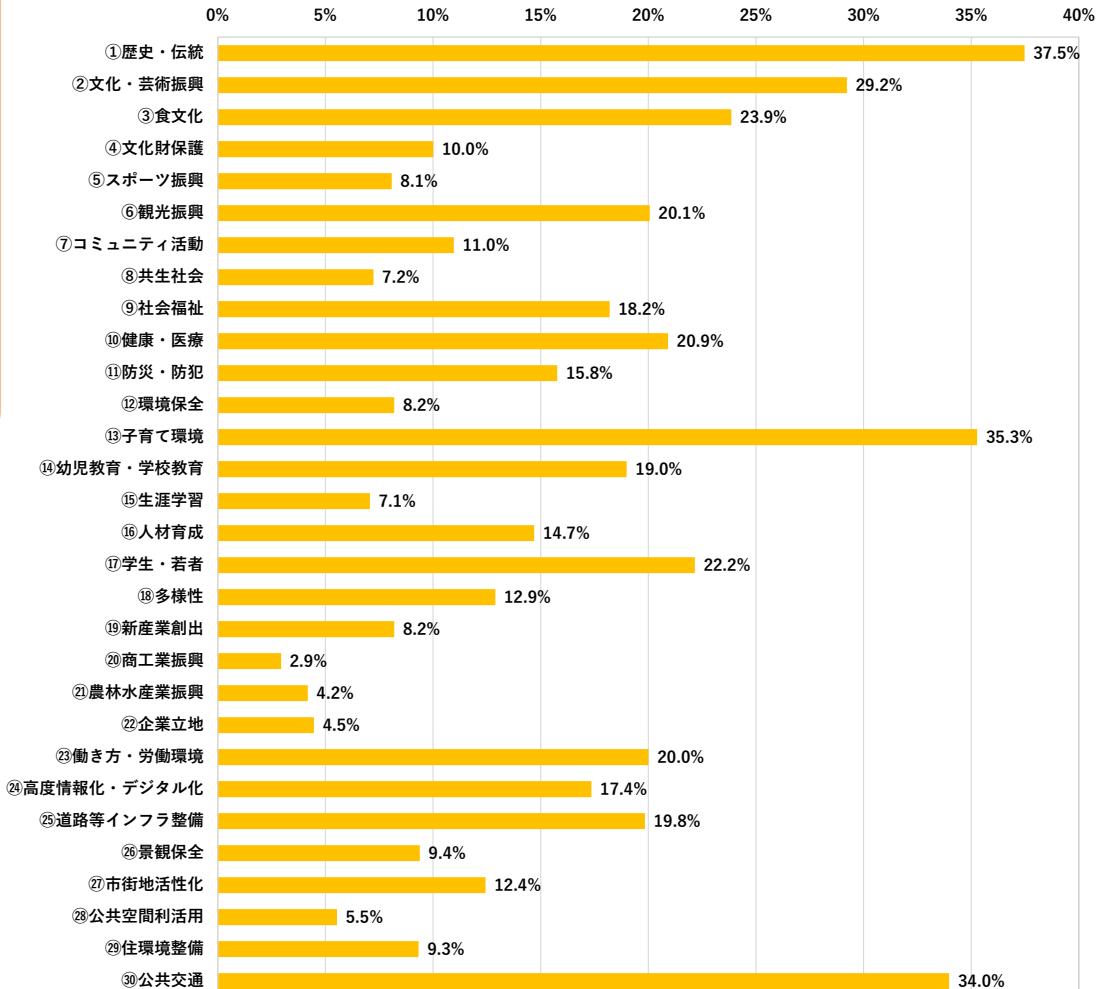
(n=1782)

アンケート調査結果（一般市民）

(2) 10年後の金沢を見据えたまちづくりについて 10年後の理想の金沢を実現するために、大切だと思うキーワード

■ 上位5項目は、

- 「①歴史伝統」 37.5%
- 「⑬子育て環境」 35.3%
- 「⑳公共交通」 34.0%
- 「②文化・芸術振興」 29.2%
- 「③食文化」 23.9%



※記述形式としている

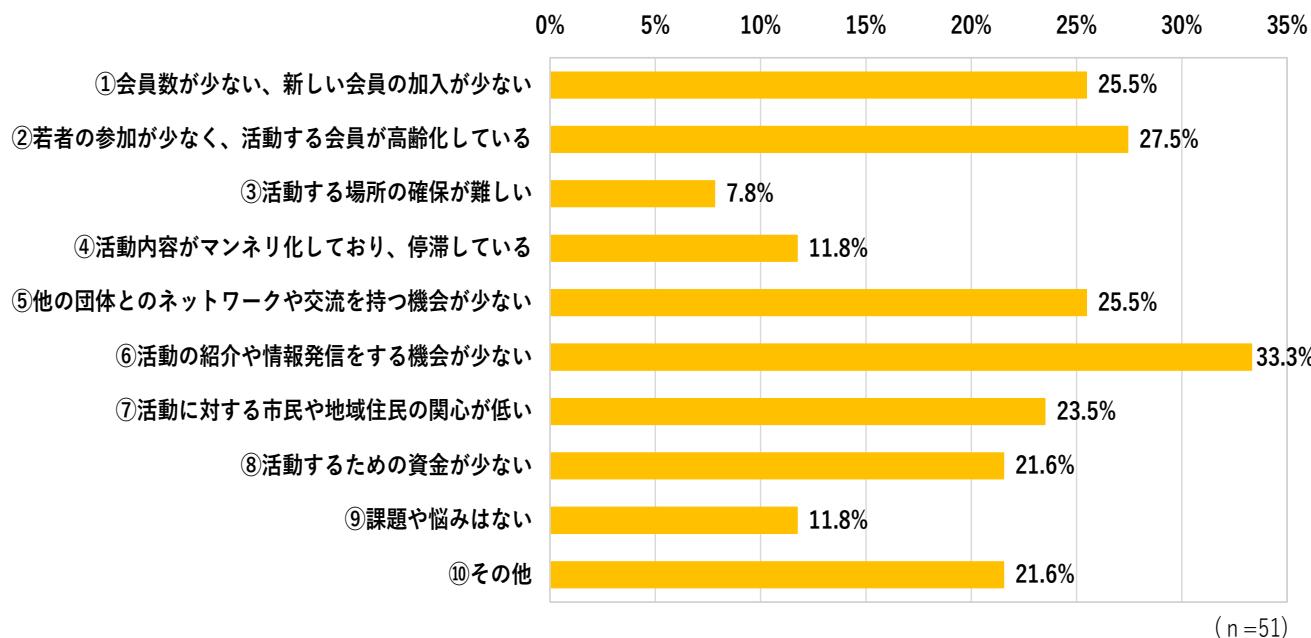
- ・金沢のまちの印象や金沢の暮らしに対する意見
 - ・10年後の金沢の姿についての意見
- などの結果は、別紙「参考1」を参照

アンケート調査結果（各種団体）

（1）団体の活動について

それぞれの団体が抱えている課題や悩み

- 「⑥活動の紹介や情報発信をする機会が少ない」が33.3%と最も多く、次いで「②若者の参加が少なく、活動する会員が高齢化している」が27.5%、「①会員数が少ない、新しい会員の加入が少ない」「⑤他の団体とのネットワークや交流を持つ機会が少ない」が共に25.5%となっている。



その他の内訳

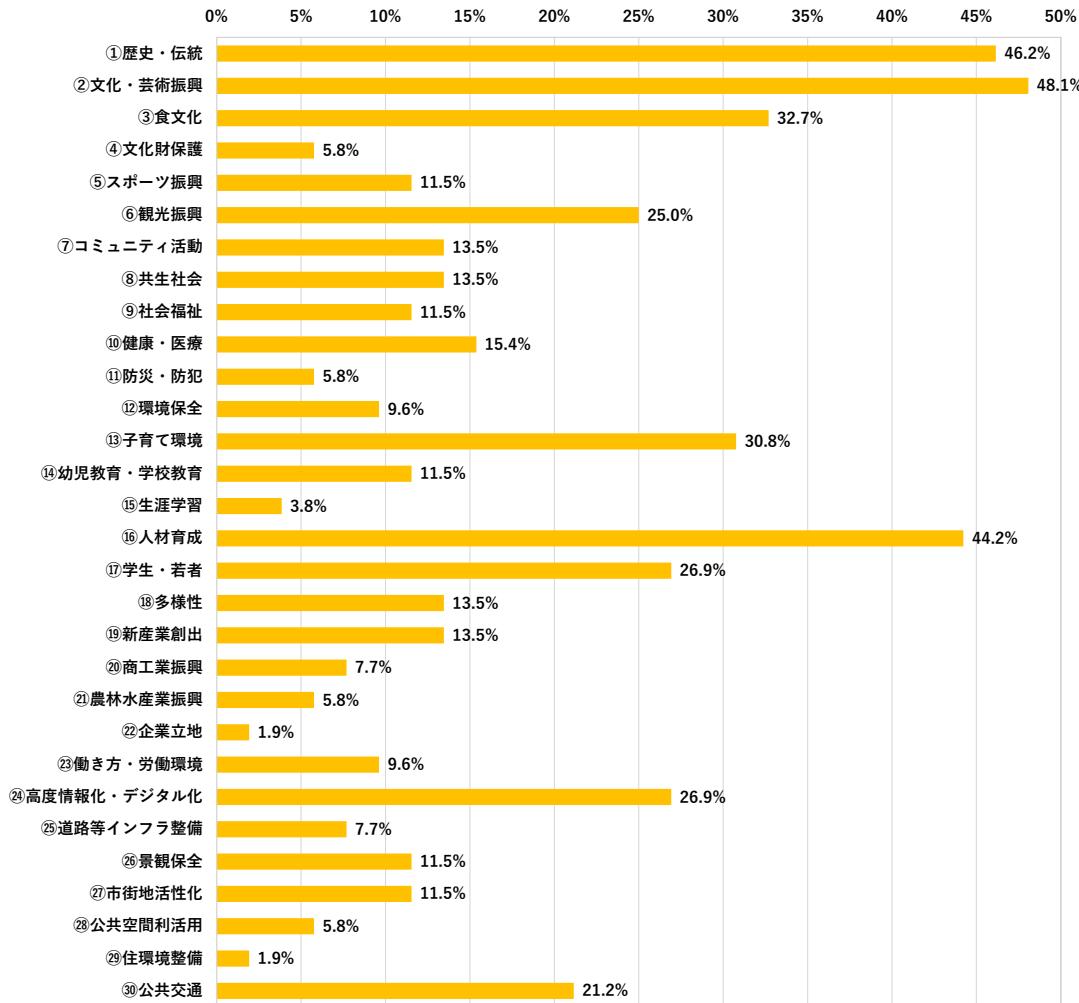
- ・DX化
- ・人材不足
- ・コロナの影響による事業・活動の制限
- ・会員企業のレベルアップを図りたい
- ・少子化による事業・活動の減少
- ・組織のSDGs推進と地域とのかかわり方
- ・学生教育における地域活性取り組みへの参画方法
- ・組織加入率、会員満足度の向上
- ・入会のメリットが希薄となり、会の重要性・存在意義の低下が懸念される

アンケート調査結果（各種団体）

(2) 10年後の金沢を見据えたまちづくりについて 10年後の理想の金沢を実現するために、大切だと思うキーワード

■ 上位5項目は、

- 「②文化・芸術振興」 48.1%
- 「①歴史伝統」 46.2%
- 「⑯人材育成」 44.2%
- 「③食文化」 32.7%
- 「⑬子育て環境」 30.8%



※記述形式としている

- ・団体活動に取り組む中で感じる金沢の強み・弱み
- ・団体が望む10年後の金沢の姿についての意見
- ・金沢のまちづくりに対する意見・提案・アイデアなどの結果は、別紙「参考1」を参照

市民参加型ワークショップ（グループ発表抜粋①）

■ 5つのテーマにおいて、10年後の金沢がどのようにになっていると良いか、またそのためには、どのようなことが必要か

■ 魅力づくり（文化・芸術、観光）

- ・伝統文化、伝統工芸に関わる人材育成と市場拡大の機会創出
- ・マーケティング力、プロモーション力の向上
- ・観光客の滞在日数の増加を目指した、伝統工芸と観光産業の連携
- ・伝統工芸を盛り上げる

■ 暮らしづくり（福祉、環境、コミュニティ、安全・安心）

- ・空き家や公民館など使われていない場所を活用し、同世代、多世代の交流の場の創出
- ・クリーンでエネルギー効率が良い持続可能な金沢
- ・用水を活用した小型水力発電を、企業や研究機関、起業を志す人が協働で取り組む
- ・雨や雪もしのげ、発電しながら、まちを巡ることができる軒下をつくる
- ・発電、交通、市民生活などについて、市民が話し合う場を創出
- ・小学校を地域のコミュニティセンターとして、誰もが安心できる開かれた場所にする

市民参加型ワークショップ（グループ発表抜粋②）

■人づくり（子育て、教育、生涯学習）

- ・多様性を育むために人とつながり、交流が生み出される仕組みをつくる
- ・情報にたどり着けるわかりやすい仕組みをつくる
- ・若い人が挑戦・発信できる環境づくりと教育の改革
- ・市民が主体的に人・もの・金を回せる仕組みづくり

■仕事づくり（新事業創出、産業振興）

- ・子どもだけでなく大人も起業家も学べる環境づくり
- ・職人や専門性を持つ人が生活でき、金銭的リターンのある社会づくり
- ・今ある資源×新しい価値で、人を集める仕組みづくり
- ・伝統産業のビジネス化のためにIT産業と連携・融合
- ・成果、アウトプット、タスクを重要視した自由な働き方の推進で企業や人と誘致、女性の地位向上
- ・一匹狼になっている人を受け入れ、皆で認め合う

市民参加型ワークショップ（グループ発表抜粋③）

■都市づくり（都市基盤、交通）

- ・金沢らしさを追求し、市民の愛着心、生活を街に根付かせる
- ・「多様な」市民の暮らしの充実と、来街者への魅力発信による、まちなかの賑わい創出
- ・市民と来街者で課題を解決できる共創都市金沢
- ・人の動きをデータで把握し、市民にも来街者にも便利な交通の整備

(3) 新たな都市像検討委員会の設置について

「新たな都市像検討委員会」の設置について

1. 設置目的

- ・人口減少・少子高齢社会の進展をはじめ、新型コロナウイルスの感染拡大による人々の生活、行動、価値観の変容や、情報通信技術の急速な発展など、社会情勢が大きく変化
- ・このような市政を取り巻く環境の変化を踏まえ、
本市がめざすべき将来像と基本方針を掲げた構想となる新たな都市像を策定すべく、その検討にあたり、有識者や関係団体の代表者等で構成する「新たな都市像検討委員会」を設置

2. 構 成

学術、各分野における有識者、関係団体の代表、地域団体の代表、若い世代の代表 [19人]

「新たな都市像検討委員会」の設置について

3. テーマ別意見交換

- ・ 5つテーマごとに、より専門的な視点での議論
- ・ 識者に加え、若い世代の意見も積極的に聴取

新たな都市像検討委員会 [19人]

大局的・多角的な見地より議論

テーマ別意見交換

5つテーマごとに、それぞれ若い世代の意見を取り入れつつ、
より専門的な視点での議論を展開

① 魅力づくり

文化・芸術、観光 など

② 暮らしづくり

福祉、環境、コミュニティ、
安全・安心 など

③ 人づくり

子育て、教育、生涯学習など

④ 仕事づくり

新事業出、産業振興 など

⑤ 都市づくり

都市基盤、交通 など

新たな都市像検討委員会 委員（予定）

※敬称略・五十音順

※役職名は令和5年度3月時点

氏 名	役 職 等
安宅 建樹	金沢商工会議所 会頭
出原 立子	金沢工業大学 情報フロンティア学部学部長／メディア情報学科 教授
桶川 秀志	金沢市社会福祉協議会 会長
久保 幸男	(一財) 石川県芸術文化協会 理事長
砂塚 隆広	(一社) 金沢経済同友会 代表幹事
諏訪 貴子	ダイヤ精機(株) 代表取締役／経済産業省 産業構造審議会 委員
竹上 勉	金沢市公民館連合会 会長
田邊 俊治	金沢学院大学 教育学部教育学科 教授
谷口 亮輔	未来へつなぐ金沢行動会議 代表
道地 慶子	石川工業高等専門学校 副校長／建築学科 教授
中川 一成	金沢市町会連合会 会長
中谷 陽	金沢まちづくり学生会議 第14期代表
能木場 由紀子	金沢市校下婦人会連絡協議会 会長
八田 誠	(一社) 金沢市観光協会 副理事長
松永 浩行	(独) 都市再生機構 東日本都市再生本部 副本部長
眞鍋 知子	金沢大学 融合研究域融合科学系 教授
矢ヶ崎 紀子	東京女子大学 副学長／現代教養学部国際社会学科 教授
山崎 剛	金沢美術工芸大学 学長
和田 隆志	金沢大学 学長

テーマ別意見交換 委員名簿（予定）

※敬称略・五十音順

※役職名は令和5年度3月時点

魅力づくり

久保 幸男	(一財) 石川県芸術文化協会 理事長
八田 誠	(一社) 金沢市観光協会 副理事長
矢ヶ崎 紀子	東京女子大学 副学長／現代教養学部国際社会学科 教授
未来へつなぐ金沢行動会議委員、金沢まちづくり学生会議メンバー	

暮らしづくり

桶川 秀志	金沢市社会福祉協議会 会長
中川 一成	金沢市町会連合会 会長
眞鍋 知子	金沢大学 融合研究域融合科学系 教授
未来へつなぐ金沢行動会議委員、金沢まちづくり学生会議メンバー	

人づくり

竹上 勉	金沢市公民館連合会 会長
田邊 俊治	金沢学院大学 教育学部教育学科 教授
能木場 由紀子	金沢市校下婦人会連絡協議会 会長
未来へつなぐ金沢行動会議委員、金沢まちづくり学生会議メンバー	

テーマ別意見交換 委員名簿（予定）

※敬称略・五十音順

※役職名は令和5年度3月時点

仕事づくり

安宅 建樹	金沢商工会議所 会頭
出原 立子	金沢工業大学 情報フロンティア学部学部長／メディア情報学科 教授
諏訪 貴子	ダイヤ精機（株） 代表取締役／経済産業省 産業構造審議会 委員
未来へつなぐ金沢行動会議委員、金沢まちづくり学生会議メンバー	

都市づくり

砂塚 隆広	(一社) 金沢経済同友会 代表幹事
道地 慶子	石川工業高等専門学校 副校長／建築学科 教授
松永 浩行	(独) 都市再生機構 東日本都市再生本部 副本部長
未来へつなぐ金沢行動会議委員、金沢まちづくり学生会議メンバー	

検討スケジュール

時 期	内 容
令和5年3月24日	準備会合 開催（本日）
4月	第1回 委員会開催
5～6月	テーマ別意見交換
7月	第2回 委員会開催
8月	第3回 委員会開催 新たな都市像（素案）の提言、素案のとりまとめ
10月	パブリックコメントの実施
11月	新たな都市像（案）のとりまとめ
12月	新たな都市像（案） 市議会上程